



Lesson of imagination

## Lesson1

思い描く。

Imagine



Lesson of imagination

# 01

もう一度、  
「自分の夢ってなんだろう？」  
と考える。

「あなたの夢はなんでしょうか？」

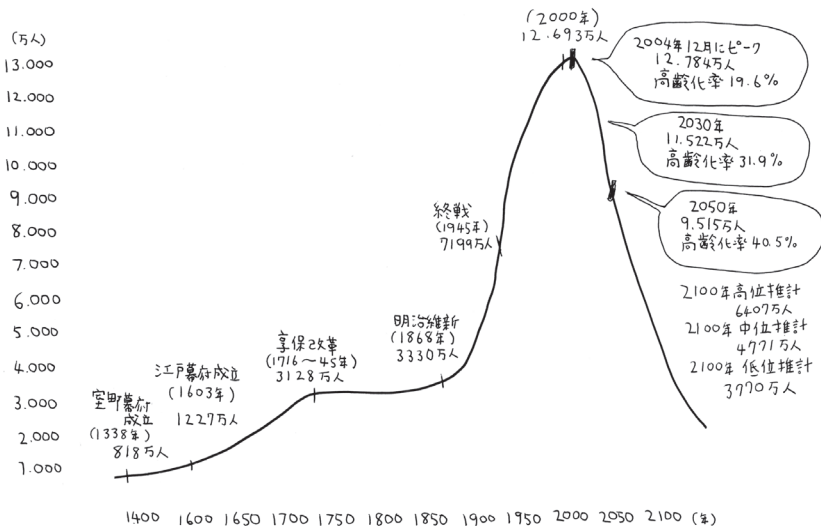
ありきたりな質問だと思ったでしょうか。

今さら夢なんて、と恥ずかしく感じた人もいるでしょうか。

でもこれからは、夢がない人は生きていけなくなるかもしれない。なぜなら今、とても大変なことが起こっているからです。

目の前に大きな壁が迫っているのです。

出典) 総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、同「平成12年及び17年国勢調査結果による補間推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)をもとに、国土交通省国土計画局作成



これは日本の人口のグラフです。日本の人口は今までずっと増え続けてきました。とくに明治維新を境に、その後とんでもない勢いで増えています。ところが2004年の12月から、これまたとんでもない勢いで減っています。

つまりぼくたちは人口のピークをむかえ、その後、急激に減りはじめた斜面をたった今、下っているわけです。過去に、この下り坂を経験した日本人はいません。だから人口のピークより後、人口が減り続ける社会では、なにが起こるか誰にも予測できません。

少なくとも、上の世代がいうところの「若い頃は」「昔は」「普通は」という常識は一切通用しないでしょう。まったく新しい、はじめての時代をぼくたちは生きているのです。

人口が急に減った国では大変なことが起こります。

たとえば「お店の売上」は落ち続けます。「お店の売上」が、お客さんの数と比例するのは当たり前のことですからね。

お店だけではありません。またにも考えたら「経済がプラス成長する」とか「給料が毎年増える」ということは難しそうです。

今までの日本はそうではありませんでした。「すなお」で「まじめ」に仕事をがんばっていたら、毎年、給料がちよつとずつ増えました。

多くの人は、それは当然のことだと思っていたでしょう。

でもそれはたまたま、「人口が増え続けていたから」なのかもしれません。これからはどんどん人口が減っていきます。

だとすれば、会社に入っつてすぐの初任給が最高で、あとは毎年給料が下がっていくということになります。そんなことがもう現実にはじめています。

では、お先は真つ暗なんですか？

いえ。そのかわり、こんな時代だからこそ「夢が大切だ」といわれます。

「夢」というのはよく聞く言葉です。よく聞く言葉だからこそ、大人は軽く考えてし

まいがちです。

でも夢は必要です。

もう一度ききます。

あなたの夢はなんでしようか？　そもそも「夢」って一体なんなのでしようか？

これからみなさんと一緒に考えていきたいと思えます。

ぼくははじめに「これから先の日本は、給料が毎年下がるような国になるかも」と縁起でもない話をしました。

でも実は全然大丈夫なんです。

ちよつと難しい言葉になりますが、日本の「単位労働時間あたりのGDP」は、フランスの半分しかありません。

どういうことだかわかりになりますか？

同じ時間働いたとしても、日本人が生み出すものは、フランス人の半分しかないという事です。

日本人はどれだけ効率の悪い仕事をさせられているのでしょうか。

つまり、まだいくらでも改善できるということです。

日本は2倍の経済成長ができるかもしれないし、それはもしかしたら世界を救うチカラになるかもしれません。

そのためには間違いなく、みなさん一人ひとりの能力の向上が必要です。

そして能力の向上のためには、夢が必要です。

だからみなさんには、素敵な夢をたくさん持ってほしいのです。

夢について、もうみなさんは知っています。

“あきらめなければ、夢は叶う”

すばらしい言葉です。本当のことだと思えます。

でもその言葉の裏にはとんでもない副作用がありました。

それは「夢が叶わなかったのは、あきらめた自分が悪いんだろう」ということです。あきらめた自分のことを責めている。そんな人を、ぼくはたくさん知っています。

でも自分を責める必要なんてありません。なぜなら日本が変わるからです。

「夢」という言葉について調べてみたところ、アメリカの辞書には「夢とは……強く

願い、努力すれば実現できるもの」と書かれていました。  
ところが、日本の辞書には〈夢とは……はかないもの。叶わないもの〉と書かれて  
いました。

実際、日本人には「あきらめた」んじゃなくて、「あきらめさせられた」人の方が  
圧倒的に多いのです。

〈夢とは……はかないもの。叶わないもの〉だと思い込んでいる、いろんな人たちに  
よって、です。

自分を責める必要なんてまったくありません。

今、これから「自分の夢ってなんだろう？」と考えてほしいのです。

もしかしたら誰かに売りつけられた夢を、自分の夢だと思い込んでいるだけかもし  
れません。

自分の本当の夢を、一生懸命考えてほしいのです。

● 夢が「いらなかった」時代は終わろうとしている。

